

屋形町は北部の鉾山と姫路の港の間にある重要な宿場町の役割を果たしていた。「銀の馬車道(銀山の馬車道)」(現在は銀の馬車道として知られている生野鉾山寮馬車道)が1876年に建設されたとき、屋形町は主要な休憩地であった。歴史的建造物は今日では残っていないが、その街並みは日本遺産の構成遺産となっている。